

2024 年度統計関連学会連合第 2 回理事会・組織委員会

日 時：2024 年 9 月 5 日（木）13:30 – 15:00

場 所：ハイブリッド（東京理科大学会議室（834 教室）+ZOOM）により実施

出席予定者：

【2024 年度学会連合理事】

応用統計学会 南 美穂子，田畑耕治

日本計算機統計学会 山本義郎，渡辺敏彦

日本計量生物学会 服部 聡，松井茂之

日本行動計量学会 狩野 裕，足立浩平

日本統計学会 照井伸彦，川崎能典

日本分類学会 宿久 洋（理事長），中山厚穂

【連合大会実行委員会】 橋口博樹（2024），松本 渉（2025）

【連合大会運営委員会】 藤木美江（2024），富田 誠（2025）

【連合大会プログラム委員会】 地道正行（2024），内藤貫太（2025）

幹事 阿部貴行，石岡文生，富田 誠，本橋永至

組織委員会・報告事項

1. 2024 年度連合大会

(1) 藤木運営委員長より，以下の報告があった。

- ・ 登録件数の速報値について，本大会は 1,046，企画セッションのみは 83，チュートリアルセッションのみは 13 であり，計 1,142 だった。
- ・ チュートリアルセッションの登録件数は 269，市民講演会の登録件数は 266 だった。
- ・ 今年度はプログラム冊子の配布を行ったため，協賛企業から広告の掲載取消はなかった。
- ・ ランチョンセミナーには，約 50 人が参加した。

(2) 地道プログラム委員長より，以下の報告があった。

- ・ 台風の影響により，市民講演会，チュートリアルセッションともにオンラインで行い，市民講演会の参加者数は 148 人，チュートリアルセッションの参加者数は 277 人だった。また，プレナリーセッションは 283 人が参加した。
- ・ 一般セッションは 32（発表件数：177），コンペティションセッションは 6（発表件数：36），企画セッションは 141（発表件数：141），プレナリーセッションは 1（発表件数：1），特別企画セッションは 2（発表件数：2）であり，総報告数は 358 だった。
- ・ 企画セッションにおいて，申込後に所属を変更するなど，とりあえずエントリーしたものがいくつかあった。

(3) 橋口実行委員長より，以下の報告があった。

- ・ ハイブリッド形式で行ったため，主に質疑応答の時にいくつかトラブルがあった。

組織委員会・審議事項

0. 前回議事録の承認

前回の組織委員会の議事録が確認された。

1. 2025年度連合大会各委員長の承認

2025年度の各委員長について、以下が提案され、承認された。

- ・実行委員会：委員長：松本渉（関西大学）
- ・プログラム委員会：委員長：内藤貫太（東北大学）
- ・運営委員会：委員長：富田誠（横浜市立大学）

2. 2025年度連合大会の準備状況について

松本 2025年度実行委員長より、以下の提案があり、承認された。

- ・ 関西大学千里山キャンパスにて、9月7日（日）にチュートリアル・市民講演会、9月8日（月）～9月11日（木）に本大会を開催する。
- ・ 9月9日の懇親会場として、100周年記念会館の申込みを行った。
宿久理事長から、統計質保証推進協会との窓口を運営委員長にするとの提案があり、承認された。

連合理事会・報告事項

1. JISDの現状について

宿久理事長より、2024年1月1日以降の投稿本数、現在ハンドリングの本数、これまでの採択率、今後の特集の予定について、報告があった。

2. 統計情報研究開発センターによる統計関連学会連合事業（多様性推進・男女共同参画推進）への支援について

阿部幹事より、統計情報研究開発センターから、連合大会における事業を拡張したいとの提案があり、連合大会中の交流会の弁当代や連合大会以外の事業などに支出することに合意したとの報告があった。

3. 共催・協賛・後援

宿久理事長より、前回理事会から本日までに、次の事業・会議に後援・協賛したことが報告された。

- ・九州大学マス・フォア・インダストリ研究所の文部科学省事業申請へのサポートレター（2024年5月）
- ・日本数学会、日本応用数理学会、統計関連学会連合主催「異分野・異業種研究交流会 2024」（2024年10月19日、東京工業大学）
- ・応用統計学会主催：応用統計シンポジウム 2024（2024年11月17日、慶應義塾大学）後援
- ・応用統計学会主催：応用統計学フロンティアセミナー「責任あるAI・データサイエンス技術の開発に向けて(仮）」（2025年1月12日、慶應義塾大学）後援

連合理事会・審議事項

0. 前回議事録の承認

前回の理事会の議事録が確認された。

1. 決算報告書について

阿部幹事より、2021年、2022年、2023年の決算書に軽微なミスがあったため修正したとの報告があり、承認された。

2. 2026年度連合大会の開催場所について

宿久理事長より、2026年度連合大会の開催場所については、次期執行部にお任せするとの提案があり、承認された。

3. 法人化について

宿久理事長より、すべての学会から法人化に賛同する旨の連絡があったとの報告があり、今後、法人化に向けて進めていくことが承認された。また、まずは年度内にミニマムな体制で一般社団法人を設立することが承認された。

4. 日本学術会議協力学術研究団体への指名申請について

宿久理事長より、連合のプレゼンス向上のために、日本学術会議協力学術研究団体に申請したいとの提案があり、承認された。

5. その他

阿部幹事より、10月中を目途に、各学会から連合大会運営委員およびプログラム委員を選出頂きたいとの依頼があった。

次回連合大会組織委員会及び統計関連学会連合理事会：
2024年12月21日（土）15:00-16:30にオンライン開催